

「広陵町自治基本条例」って知ってる？

# 自治さんと学ぶ 自治基本条例講座

Vol.19

## 「何かをしたい思い」が まちづくりの第一歩

～町の景観を美しく～

### 電

柱やガードレールに貼られている紙を見たことがある人は多いはず。無秩序に貼られたチラシは景観を損ね、あまりいい気がしないうすよね。違法に貼られたチラシややはり紙を剥がしているボランティアの皆さんにお話を伺いました。

### 活動のきっかけは？

町で平成16年に「違反広告物追放登録制度」が設け



### 現在の活動は？

毎月、地域を決めて違反広告物を除却したり、清掃活動を行ったりしています。始めた当初は、毎回剥

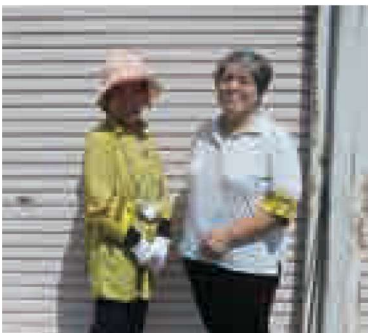
られました。少しでも町並みをきれいにしたいという思いから、平成17年に推進団体として登録し、ボランティアとして活動がスタートしました。ボランティアには、婦人会、更生保護女性会、コスモス会の3つの団体が登録されています。



### 今後の取り組みは？

広陵町がいつまでもきれいであるために私たちは活動を続けていきたいですね。

がしているのに、別の場所に新たに貼っていたりして、いちごっこでした。違反広告は町内の景観を損なうだけでなく、青少年の健全な育成等にも影響があります。長年の取り組みの甲斐があつて、違反広告物は大幅に減ってきています。本当に続けてきてよかったと思いますね。



昔はわり紙あつたけど最近ないもんな

ボランティアの皆さんのおかげで町が美しくなっていますね！

よっしゃ！ボランティア募集のチラシいっぱい貼ってくるわ！

だから貼っちゃダメですって！

自治さん  
自治基本条例に  
詳しい妖精

イヤイヤさん  
分からないことはつい  
イヤイヤしてしまう

「広陵町自治基本条例」って知ってる？

# 自治さんと学が 自治基本条例講座

Vol.22

## 「何かをしたい想い」が まちづくりの第一歩

～保育ボランティア～



二人とも3月までこのこども園で働いていました。一度園から離れたのですが、スタッフが少なく困っていると聞

「おはようございます！園児の元気なあいさつが響きます。今回は広陵北かぐやこども園で保育ボランティアをしていただいている土屋先生、廣川先生にお話をうかがいました。」

### #きつかけは

いたこと、子どもたちの笑顔や笑い声に触れたいと思つて戻つてきました。今は登園時間の午前7時30分から9時頃まで保育ボランティアをしています。朝から元気いっぱいの子もいれば、家族の方から離れたくなくて泣き出す子もいてとても忙しいですね。」

12月からは毎週土曜日に白鳳女子短期大学の学生さんもボランティアに来てくださっています。

### #こども園の運営

北川副園長は「全国各地でも園のスタッフが足りていない状況です。私たちは子どもたちに対して細心の注意をはらっています。より充実して見守ることができるよう、子どもが好んでボランティアしてくださる方が増えるといいですね」と話されていました。



広陵町では、「このまちに住んでよかった」と町民皆さんが自信と誇りを持って、次世代の子どもに継承できるよう取り組んでいます。保育ボランティアだけでなく、登下校の見守りやごみ拾いなど多くの方がまちづくり活動をしてくださっています。

保育ボランティアについての連絡先はこちらから。

連絡先…

広陵町社会福祉協議会

☎ (55) 8300



俺も子どもたちが歩いてたら見守りするわ！

「子どもたちのために」という気持ちがあつても皆さんに広がればいいですね



地域で、みんなで子どもたちを育てられたら素敵ですね！

やっぱり保育園とこども園って大変なんやなあ……

# 自治さんと学ぼう 自治基本条例講座

問 協働のまちづくり推進課 ☎内線 1366

Vol.29

## 「何かをしたい思い」が まちづくりの第一歩 ～ 広陵ドッグスクール ～

### 田

んぼの広がる広陵町大字百済にある集落の一角に、犬をしつけるための学校「広陵ドッグスクール」があります。しつけだけでなく、警察犬や災害救助犬の育成を行っています。

### #知られざる救助犬の活躍

「熊本、広島、静岡など豪雨災害で土砂崩れがあつた被災地に災害救助犬とともに入って人を見つける活動をしました。幸い奈良はあまり災害がない地域なのでありがたいです。」と話す代表の松川さん。

「救助犬」というと警察



や自衛隊の犬を思い浮かべますがわずかに1割です。残り9割は私たちのような民間の活動団体があります。ただ、交通費や訓練に必要な場所代などはすべて実費です。救助犬の訓練・育成、実働はほとんど無償ボランティアであること、こういった活動を広く知ってもらえていないことが課題です。」と松川さんは話します。

実際に取材時に預かっていた訓練犬を拝見すると、遊ぶ時は元気いっぱ



いに訓練場を走り回る一方、救助トレーニング（訓練士）の言うことを聞いて、土管に隠れている人を見つけ、ハンドラーに伝えていました。

### #広げたい救助支援の輪

「広陵町とは直接災害救助犬の出勤に関する協定を結んでいます。それに広陵町だけでなく、広陵町以外の被災地でも広陵町を背負って救助できるようにしていきたいですね。また、広陵町では

迷い人の捜索に関わって見つけられるようにしたいですね。また、将来は市町村が救助犬を所持してもらえればいいですね」と意気込みをいただきました。

町では、機能停止した広陵交通公園を当スクールに貸し出し、訓練を実施しています。また、広陵高田ビジネスサポートセンターに今後の事業者との連携や救助犬育成のビジネスモデルづくりに取り組んでおられます。

こういった活動がもっと広く知れ渡るといいですね！



自治さん  
自治基本条例に  
詳しい妖精

「広陵町自治基本条例」って知ってる？

# 自治さんと学ぶ 自治基本条例講座

Vol.36

## 「何かをしたい思い」が まちづくりの第一歩

～元気に動きたい仲間募集！～



中央体育館でトレーニング教室を開催している団体を取材しました。

### #ききつけ

元々、中央体育館の主催事業として実施されていたものがいつのまにか自主事業のグループになっていました。コロナ前は40人ほどでトレーニングしていたのですが、コロナ禍だったのと高齢化とで、現在は10人あまりになってしまいました。

### #現在の活動

毎回トレーナーを招いて、エアロビクス、ダンベルやボールを使った体操、脳トレ、最後に柔軟体操をしています。介護予防ではなく、普段の生活を健康に元気で過ごせるよう楽しく和気あいあいと運動を続けています。



### #参加者の声

「当初は友達に誘われてしゃーなしに来てたけど、知り合いができていくうちに楽しくなったわ」「みんなが集まってワイワイしながらやるのがええねん」「けっこう激しい動きのやつもあるんやで」と嬉しそうに話します。

### #一緒にしませんか

先生、仲間、健康な自分、アリーナ、みんなありがとう！毎回元気に参加しています。

毎週水曜日午後1時30分から中央体育館のアリーナで行っているので、一緒にチャレンジしませんか。  
持参物・バスタオル、上靴、飲料

身体だけでなく頭も口も元氣いっぱいでした！やっぱ、楽しいが一番ですね！



「広陵町自治基本条例」って知ってる？

# 自治さんと学が 自治基本条例講座

Vol.38

## 「何かをしたい想い」が まちづくりの第一歩

～災害のときはみんなで命を守ろう！～

▶ポップな案内チラシ



▲手作りの防災かみしばい

春の訪れが感じられる3月16日、大字萱野にあるKUMON広陵北教室で教室に通っている子どもたちへの防災教室が開かれました。

### #きっかけ

元日に能登半島の地震を見て「災害の時は自分たちで命を守ることを子どもたちに伝えたい」と思い、まずは教室に通っている子どもに向けてやってみました。当日は、町の防災士ネットワークの皆さんの助けを借り、子どもたちにどうすれば伝わるかを考えました。と話すのは、教室を主宰する椋本さん。今回



の地震は、元日で家に家族全員がいる中で揺れた家庭が多いことから、話し合うきっかけになったことでしょう。

### #見て聞いて作って 学ぼうね

教室では、子どもたちがスタッフ手作りのかみしばいを聞いたあと、ズボンとロープを使った簡単な防災リユックを一緒に作りました。また、防災士で地元萱野に住んでいる馬野さんから災害時に役立つ食糧、飲料水、

懐中電灯（ライト）などを実際に見せてもらい「これらを備えるだけでなく日頃から使っているなら、いざという時に迷わずに使えるね」と教えてもらいました。



### #今後について

次は、5月19日に町が実施する校区の防災訓練にも子どもたちやその保護者が参加したいと思えるようお手伝いしたいと思います。と椋本さんは話します。

楽しく学び、知ることで自分の  
地域に関心を持てますね！



▲楽しく学ぶことができました！

# 自治さんと考える まちづくり (広陵町自治基本条例)

～ 皆さんの活動が、健康づくり・まちづくりにつながります ～

問 介護福祉課地域包括支援センター ☎ (54) 6663 協働のまちづくり推進課 ☎ (55) 1001

人とのつながり（助け合い）は「自然と健康になれる」の強み（要素）のひとつ！！

地域の「人とのつながり活動」は健康につながっています。人とのつながりで地域の課題解決や支え合い、介護予防の担い手として社会参加活動をされている皆さんを紹介します。

## 「真美一まちづくり協議会」

地域課題を自分たちで解決するための取り組みをしています



▲ 令和6年度の総会

「真美一まちづくり協議会」は、真美ヶ丘第一小学校区の自治会、自主防災会、幼小PTA、民生児童委員、事業所などの団体が集まり、校区全体の課題解決やふれあいを目的として結成し、3年目を迎えました。この地域がより安全安心なまちとなり、子どもたちのふるさと、住民の憩いの場となるよう活動してまいります。



▲ 地域活動の様子

## 「KEEPの会」

運動を切り口に住民がつながるために通いの場を支えています



▲ 役員の皆さん

私達は、町主催の広陵町介護予防リーダー養成講座を修了した後、「KEEPの会」として町の介護予防普及啓発のために活動しています。主に、「通いの場」（地域住民主体で開催される運動を中心とした居場所）の立ち上げや継続支援をしています。運動だけでなく、「通いの場」の参加者が楽しく過ごせ、地域でつながりができることを目指しています。



▲ 通いの場での体操

## 「広陵ささえ愛」

住民同士で支え合える地域づくりを目指して活動をしています



▲ 議題解決のための話し合い

「広陵ささえ愛」は、地域の高齢者のお困りごと（生活支援）や見守りなどを地域で支える活動を考え、進めています。「自分が支える地域は、自分を支えてくれる地域」となるよう小学校区ごとにワークショップやアンケート調査をしています。地域の支え合い活動に興味がある人は、広陵町社会福祉協議会にご連絡ください。

## ▼ 勉強会



この取り組みって、まさに協働のまちづくり！

つながりは、外出・交流・参加から始まります！お住まいの地域のイベントに参加しませんか？  
広陵町介護予防リーダー（KEEP）養成講座は、10月開講。※広報9月号に掲載予定

住んでいて良かったと思えるまちづくりのために、行政だけでなく地域の住民や団体が考え取組もうとすること（協働のまちづくり）が「自然と健康になれるまち」広陵町につながっています。



# 親子で楽しみながら生きる力を育む 防災キャンプ



11月2日、3日、西谷公園で、「楽しみながら生きる力を学ぶ、広陵ファミリー防災キャンプ」が開催されました。主催されたのは、お米作りを通して世代間交流を行う「箸尾おこめくらぶ」さんと、子どもの居場所づくりを行う「駄菓子屋にしゃん」さんです。

その後、楽しみにしていた夕飯作りでは雨も上がり、ボーイスカウトの皆さんが工夫をこらした炊事場で、料理が始まりました。

その後、楽しみにしていた夕飯作りでは雨も上がり、ボーイスカウトの皆さんが工夫をこらした炊事場で、料理が始まりました。

当日は、当日の天気予報は大雨予想でしたが、参加予定の16組40人全員参加で始まりました。はじめて会う人たちと過ごすことに不安そうだった子どもたちも、すぐに友達を見つかったり、自分の意見をしっかりと伝えて行動するなどの姿がありました。

防災士ネットワークと真美まちづくり協議会に協力をしていただき、西谷公園管理事務所では、テントの設営、防災チャレンジタイムにはダンボールベッドの組み立てなどを行いました。

きつかけ  
今、子育ての中ではとても難しい現実が家族それぞれにありま  
す。  
日常ではなかなか味わえない体  
験を通して、「問題解決に向か  
う」、「またやればできる!」と  
いうことを知ってほしいと思い  
計画しました。



ほとんどの子が、薪割りも火おこしも初体験で、おそろおそろチャレンジしていましたが、できた時には歓声が上がリ、「楽しい、もっとしたい」という声がたくさん聞かれました。できあがったカレーは絶品だったようです。  
食事後は、畿央大学の学生さんによるキャンプファイヤーが行われ、みんなで踊ったり、歌ったりと笑みが溢れました。保護者からは「家で息子とはこんなに喋れない。今日はたくさん会話ができてとても嬉しい」との声が印象的でした。

このイベントは町の「協働のまちづくり提案事業補助金」が活用されています。

楽しみながら考える力、  
生きる力が育まれるのが  
素敵ですね!



夜は、雨上がり後で諦めていたテントでの宿泊も行うことができました。  
**防災キャンプを通して**  
この2日間のドキドキ、ワクワクの体験が、子どもたちの中に残って、一つの成長につながれば良いなと思います。  
保護者の方には、周りの人たちと共に育ち合う子育て環境をつくっていく一つのきつかけが、この防災キャンプになれば良いなと思います。

## まちづくりについて考えよう

「みんなが気持ちよく過ごせる町にするため」

町内ではたくさんの方がゴミ拾い活動をされています。ゴミ拾いは、身近にできるまちづくりの一つです。

今回は、町内で清掃ボランティアの団体を紹介します。



▶ 活動されている皆さんの心得

### ボランティア団体

定期的に清掃活動されたり、ゴミ拾い見える化アプリ「ピリカ」を通じてたくさんの人とつながり、それぞれの地域で清掃活動に取り組みられています。

### 個人でも

日課のウォーキングのついでや、家の前の掃除、ゴミが目についたら拾って帰る人など、日々の生活の中で、意識しなくても自然と清掃活動をされています。



▶ 高田川葛城川ゴミ拾いの会の皆さん

### 区・自治会

祭りなど、区内の住民の世代を超えた交流を通じて、相互の親睦を深めるとともに、防災・交通安全・地域内の広報活動などを行っています。清掃活動もその一つとして取り組まれています。

### 企業

社員で地域の清掃活動がされていたり、休日に清掃イベントとして実施される企業もあります。



▶ 地域でのクリーンキャンペーンの様子

### きっかけ

健康のためのウォーキング中にゴミを目にして拾うようになったり、何か地域への活動をしてみたいと思いついたり、きっかけはさまざま。

登下校をしている子どもたちのため、地域に訪れる人のため、自然に生息する動物のためと想いもさまざまです。

### 活動をしてみて

ゴミ拾いを通して人とながれたり、清掃活動のあとは気持ちもスッキリします。



▶ (株)ミートステーションの皆さん

### 共通の想い

皆さん自分の住む町をきれいに・気持ちよくという想いにあふれています。

まちづくりの基本は『みんなのために』『無理のない範囲で』です。

『誰かが勝手にしてくれるだろう』ではなく、こうした活動をしていてくれる人たちに「ありがとう」の感謝の気持ちを広めていきたいですね。

ゴミ拾いを通してつながれるアプリ「ピリカ」については、「L・C・K(レッツ・クリーン・こうりょう)」の見える化ホームページを「ご確認ください」。



「自分たちの町を自分たちでキレイにしよう」という気持ち、素敵ですね！